

平成 29 年 9 月吉日
会員会社代表者各位
品質管理担当役員様

株式会社自動車部品会館
協賛：(一社) 日本自動車部品工業会関東支部

平成 29 年 11 月 16 日～17 日
IATF16949：2016 内部監査員養成研修のご案内

拝 啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素 当会の事業につきましては、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

2016 年 10 月に「ISO/TS16949：2009」に替わる自動車産業の新しい品質マネジメントシステム規格『IATF16949：2016』が発行されました。

ISO/TS16949：2009 認証を取得されている企業は、2018 年 9 月 14 日までに

「IATF16949：2016」への移行を完了する必要があります。2018 年 9 月 14 日以降は、全ての ISO/TS16949：2009 認証が無効となります。

株式会社 自動車部品会館では一般社団法人 日本自動車部品工業会 関東支部

会員企業様における『IATF16949：2016』構築・認証取得活動への支援として、

また『IATF16949：2016』に基づく監査の実施を進める上での必要要件である

「内部監査員養成研修/基本 2 日コース」を、平成 29 年 11 月 16 日（木）～17 日（金）に開催いたしますのでご案内申し上げます。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので、受講をご希望される方は別紙受講申込書により、平成 29 年 11 月 9 日（木）までにお申込下さいますようご案内申し上げます。

敬 具

IATF16949：2016 内部監査員養成/基本 2 日コース研修

■講師

あどばる経営研究所／中小企業診断士 Office 所長
ISO9001&ISO14001 審査員
認定 SOX アドバイザー／上級内部統制管理士

草野 喜義（くさのきよし）氏

■日程

開催日時：平成 29 年 11 月 16 日(木)～17 日 (金)
両日とも、午前 9 時 30 分～午後 5 時まで

■開催場所

自動車部品会館 第 1 会議室（6 階）
東京都港区高輪 1-16-15（地図参照） 電話：03-5422-6351

■受講料

54,000 円【税込】（昼食代を含む）

JAPIA 会員会社は 32,400 円【税込】

JAPIA 会員中小企業優待価格 27,000 円【税込】

◎申込要領

①受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名および氏名を明記して、**11 月 9 日（木）（必着）**までに FAX にてお申してください。折り返し受付票を FAX いたします。

もし、申込み後に参加を取り消す場合は、必ずご連絡ください。

②受講料の請求書を郵送いたしますので、銀行振込にて 11 月 9 日（木）までにお支払いください（振込手数料は貴社でご負担いただきますようお願いいたします）。

③受講希望者が募集人数（**20 名**）になり次第、締め切らせていただきます。なお、締切り前に募集人数を超えた場合にはお断りのご連絡をいたします。

※申込み後のキャンセルは 11 月 9 日（木）までといたします。以後のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか、後日テキストを郵送させていただきます。

※受講希望者が少数の場合は中止となることがありますのでご了承ください。

◎申込先および問い合わせ先

自動車部品会館 総務部 飯島
電話：03-5422-6351 Eメール：ijjima@japia.or.jp

IATF16949：2016 内部監査員養成/基本 2 日コース研修

本コースのネライと特長

1. 本コースは IATF16949：2016(自動車産業の生産部品及び関連するサービス部品の組織に対する品質マネジメントシステム要求事項)及び ISO19011(国際的な監査基準)に基づく監査を実施するための知識・スキル・ノウハウ・勘所を習得するコースです。
2. IATF16949：2016 規格の本質的理解をしていただき、監査にどのように適用させれば良いかを理解していただきます。
3. 内部監査員としての監査の進め方の手順を完全に理解していただきます。
4. 豊富なケーススタディとロールプレイング手法により、実践で通用する内部監査員を養成します。
5. IATF16949：2016 の内部監査員は、プロセスアプローチ監査、コアツール手法の理解及び各顧客別固有要求事項の理解が必要であり、これらの手法の基本説明をした後、内部監査に於ける着眼点について学習します。
6. 自信を持って不適合の指摘が出来るための 2 つのポイント(監査基準の適用方法と監査証拠の重要性の認識)についてシンプルな着眼点とノウハウの伝授により、客観的な監査指摘と実践的なスキルを確実に身につけていただけるよう学習します。

受講対象者 — こんな方に受講をお奨めいたします

ISO9001：2015 規格要求事項／解説の基本理解が出来ている事を前提とします。また事前に基本理解していただくため、事前学習用に ISO9001：2015 規格要求事項／解説テキストを事前配布します。新規格 IATF16949：2016 規格要求事項／解説テキストは研修会で配布し、解説します。

▽IATF16949：2016 内部監査員任命予定の内部監査員候補者

▽これから IATF16949：2016 の構築・認証取得に取り組む組織の方（管理者、スタッフ）

▽IATF 16949：2016 の要求事項を理解されたい方

▽内部監査員リーダーとしてレベルアップ、スキルアップを考えている現状の内部監査員の方

▽QMS(品質マネジメントシステム)の各部門管理者、現場の監督者等 QMS の仕組み構築に責任のある方

修了証を発行します

▽内部監査員としての資格認定の要件確認の資料として、認定担当部門に使用することが出来ます。

▽受講者が所定のカリキュラムを修了したことの確認として、組織の主管部署、QMS 推進者への報告資料として活用していただきます。

カリキュラム

IATF16949：2016 内部監査員養成研修タイムスケジュール（基本 2 日コース）

	研修内容		時間	使用テキスト	
1 日 目	1 研修オリエンテーション		9:30~9:45		
	2 IATF16949：2016 規格要求項目解説	講義	9:45~12:00	IATF16949：2016 規格要求項目／規格の解釈 IATF16949：2016 規格要求項目（一覧タイプ）	
	昼休憩			12:00~13:00	
	2 IATF16949：2016 規格要求項目解説	講義	13:00~15:00		
	3 IATF16949：2016 規格要求と企業の対応	講義	15:00~16:00	IATF16949：2016/TS16949：2009 との相違点と企業の対応	
	4	内部品質監査の進め方 内部品質監査と PDCA 内部品質監査員の養成	講義	16:00~17:00	内部品質監査の進め方 品質システム監査の指針
2 日 目	5 コアツールの要点解説	講義	9:30~10:30	コアツールの要点 コアツール監査のポイント	
	6 IATF16949：2016 プロセスアプローチ監査	講義	10:30~12:00	プロセス監査 要求事項/プロセスマトリックス表	
	昼休憩			12:00~13:00	
	7 タートル分析ケーススタディ	演習	13:00~14:30	タートルモデル分析によるプロセス監査/演習	
	8 不適合判定ケーススタディ	演習	14:30~16:45	IATF 規格対応/不適合判定/演習	
	9 研修まとめ/Q&A		16:45~17:00	研修会終了後、個別の質問受付、対応致します	

* ISO9001：2015 規格要求事項及び ISO/TS16949：2009 規格要求事項は理解できていることを前提とします

* ISO9001：2015 規格要求事項/解説テキストは事前配布します（事前学習が必要です）

講師プロフィール



草野喜義（くさのきよし）

あどばる経営研究所／中小企業診断士 Office 所長として、中堅・中小企業の育成支援、ISO 認証取得支援、ISO 内部監査員養成研修、各種研修会・セミナー講師として幅広く活躍している。

ISO 認証取得コンサルティングは、ISO9001,ISO14001,ISO27001,ISO13485,ISO22000,ISO/TS16949,JISQ9100,OHSAS18001,JISQ15001 等約 250 社の取得支援実績があり、これらの全ての規格に対して内部監査員養成研修講座の主催を通じて約 6500 人の内部監査員を養成している。

現場の実践的改善手法（コストダウン手法、品質改善手法、ジャストイン手法、PM分析手法など）を通じて、実質的なコストダウン、生産性改善により顧客企業の経営課題の解決、改革・改善の成果を出すことは、コンサルティングの基本姿勢としており、『あどばるポリシー』で顧客企業を応援しています。

あどばる

*Additional Value（付加価値）は、あどばる経営研究所の心です…あどばるポリシー

■資格

中小企業診断士 ISO9001&ISO14001 審査員 認定 SOX アドバイザー／上級内部統制管理士

■経歴

大阪大学溶接工学研究課程修士修了 トステム（株）海外事業室長/技術統括部長/工場長/TBI 事業部長

IATF16949 : 2016 規格（旧 ISO/TS16949）について

IATF (International Automotive Task Force) : 国際自動車業界特別委員会は、ISO/TS16949 に替わる自動車産業の新しい品質マネジメントシステム規格、『IATF16949 : 2016』を発行いたしました。(2016年10月)『IATF16949 : 2016』は、近年の自動車産業におけるグローバル競争の加速や複雑なサプライチェーン等を考慮されており、組織が継続的改善を享受できるように策定された新しい品質マネジメントシステムです。

『IATF16949 : 2016』は、自動車産業界における“組織の品質マネジメントシステムの要求事項”を定義しているISO/TS16949 に替わる規格になります。本規格は単独の規格ではなく、2015年に改定されたISO9001 : 2015の構造や要求事項に沿って策定されています。一部の要求事項はISO9001 : 2015と同一のものとして取り扱われるため、既にISO9001 : 2015を認証されている組織は、『IATF16949 : 2016』へのアップグレードをスムーズに対応できる可能性があります。

ISO/TS16949 : 2009 認証を取得されている組織は、2018年9月14日までに『IATF16949 : 2016』への移行を完了する必要があります。2018年9月14日以降は、全てのISO/TS16949 : 2009 認証が無効になります。

また2017年10月1日以降は、全ての審査（初回審査、サーベイランス審査、移行のための再認証審査等）は『IATF16949 : 2016』にて審査をする必要があります。

IATF が新たに義務付けた今回の要求事項は、お客様のビジネスにおいて、より良い品質の製品や継続的改善に繋がるものであり、非常に有意義なものになります。

IATF16949 : 2016 改定版の背景と主な変更点

自動車産業における要求事項は常に変更されており、現状の規則に反映した下記要件が考慮された新しい自動車品質規格が必要になった。

- ① 製品安全に係る要求事項が整理された
- ② リスク分析に係る要求事項が追加された
- ③ 緊急事態対応計画の要求事項が具体的になった
- ④ 内部監査員の力量について具体的な要求事項が定められた
- ⑤ 二者監査に係る要求事項が追加になった
- ⑥ 関連部品やその部品に付随するプロセスの必要要件を明確にする
- ⑦ 規則変更柔軟に対応できるよう、製品要求事項を明確に把握できる体制づくり
- ⑧ 自動車に既に組み込まれたソフトウェア製品の要求事項の確立
- ⑨ 供給者選定プロセスが要求され、より具体的な供給者の管理が要求されている
- ⑩ 供給者の GMS 開発について二者監査による手段が強化されている
- ⑪ サプライヤー向け管理とサプライヤーとの開発要件の明確化
- ⑫ TPM システムの要求事項が追加になった
- ⑬ 変更管理が強化された
- ⑭ レイアウト検査が追加要求事項になっている
- ⑮ 手直し製品の管理、修理製品の管理が追加要求事項になった
- ⑯ マネジメントレビューへのインプット情報が追加になった
- ⑰ 「問題解決」の要求事項が具体的に示されている
- ⑱ 良品返品（不良個所が見つからなかった返品製品）の対応や、自動車産業ガイダンスを考慮した保証マネジメントシステムの見直し／ワランティ補償管理システム要求事項の追加
- ⑲ 企業の社会的責任の追加事項
- ⑳ 共通要求事項として ISO9001 : 2015 が全面的に採用されている

FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛

2017年11月16日～17日

IATF16949：2016 内部監査員養成研修申込書

申込日： 2017年 月 日

会社名：

送り先住所：

TEL：

FAX：

メールアドレス

所属・役職：

氏名：

ローマ字：

よみ：

備考：

※申込書受付票を折り返しFAX致しますので、必ずFAX番号もご記入ください。